



今回は、「褒める」ことについて、少しお話したいと思います。

褒めることは、子どもの成長をサポートするうえで重要です。正しい褒め方をすることで、子どもの体や心によい影響があると言われています。

ただし、褒め方を間違えると悪い影響になるため注意が必要です。まずは、褒めることで得られるよい効果について見ていきましょう。

★子どもの自己肯定感が高まる

自己肯定感が高まれば、自分のことを大切に、友達やおうちの方に対しても思いやりをもって優しく接することができます。

★子どものチャレンジ精神が育つ

上手にできたことを褒めれば、子どもは成功体験として記憶していくため、自信をもって他のことにも挑戦できます。

★子どもの自主性が育つ

子どもは、また褒められたいという気持ちになるため、自主的にお手伝いをしたり、宿題をしたりすることが期待できます。

よいことばかりだと思いませんか？子どもによいことなら、やってあげたいですよね。だからといっておみやげや褒めることはよいことではありません。褒め方について、少しまとめてみました。

- 何かに挑戦してできたときは、子どもと一緒に喜ぶ。
- 叱る、褒めるのメリハリをつける。
- 結果ではなく、努力や過程を褒める。
- 他の子と比べない。
- 「ありがとう」「助かった」も褒め言葉。



何より、褒められたときの子どもの笑顔は、キラキラしていてとてもよい顔をしています。そんな笑顔を見るとうれしくなりますね。上記のことを気に留めながら、意識的に褒めてみてはいかがでしょうか？

お知らせ

お子さんの様子で、気になることや話してみたいことはありませんか。スクールカウンセラーの他に、下野市学校教育サポートセンターのスタッフが専門的な知識と豊富な経験で、悩みや困っていることの相談を行っています。お気軽にご相談ください。

教育相談係
担当 高田・河原井

きりとり

スクールカウンセラー相談 希望書

10月6日(木)締め切り

10月11日(火)の相談を希望します。

(*必ず第3希望まで希望順位をご記入いただきますようお願いいたします。)

14:00	15:00	16:00

年 組 児童名

保護者氏名